

日本共産党
淡山北部後援会

令和4年度決算に反対



植田和子市
議会報告会

11月5日(日)

北部公民館で植田和子議会報告会が開かれました。決算議会でもある9月議会で令和4年度決算について、共産党は反対をしました。主なポイントは大幅黒字なのに市民生活や福祉は不十分。また「百貨店」の建設計画や運河沿いの開発の遅れなどが熱心に討議され、植田市議から「長年努力しているが、声を強めるために取り組

参加者から

「百貨店」の建設計画や運河沿いの開発の遅れなどが熱心に討議され、植田市議から「長年努力しているが、声を強めるために取り組

むべき時のはず。自公の本の国際的な地位をどん

さがり日本新聞

国際法違反のガザ攻撃中止を

11月3日は憲法が公布されて77年、全国各地で憲法生かした社会の実現を求めた集会が開催され、平和憲法を持つ日本が行われた。

「敵基地攻撃能力」を含む大軍拡に突き進んでいた。今、日本がやらなければならぬのは、戦争する準備ではなく、平和のための外交での話し合いである。

イスラエルのガザ攻撃は国際法違反であり、国連総会で人道的休戦決議がされたが、日本政府は

「棄権」した。「平和的生存権と戦争放棄を宣言した憲法と平和外交を」今こそ進んで行うべきである。アメリカへの対度無しでだ。

ガザでは10分に一人の子どもが殺されているという。体も心も傷つく子どもたち。このままでは恨みの連鎖しか残らない。

「大軍拡はやめて暮らし守れ!」「イスラエルはガザへの攻撃を中止せよ!」「子どもを殺すな!」

美原Y

一刻も早く攻撃を中止することを求める。

2023年11月
第297号
発行責任者
菊池 伍郎
TEL/FAX
7154-0526
(部内資料)

こんばんは 植田和子です

□□□□□

わされ、存続と廃園と認定こども園化の3点の意見が答申となりました。

会長は「答申内容を尊重してください」と教育長に答申を渡していました。

が、2週間後の教育委員会では「令和7年度を武器対武器では平和は守れない。憲法を生かしてこそ世界から認められる日本になる。

相会議でも人道的立場での共同声明はなかつた。

武器対武器では平和は守れない。憲法を生かしてこそ世界から認められる日本になる。

相会議でも人道的立場での共同声明はなかつた。

武器対武器では平和は

守れない。憲法を生かしてこそ世界から認められる日本になる。

武器対武器では平和は

守れない

